

声

業界の

● 山梨協豊事業協同組合

事務局

高原

健氏

業界の現況は？

当業界では、一昨年の第1次エコカー補助金の終了、昨年の東日本大震災やタイの工場で起きた洪水被害等による部品供給のストップ等により、厳しい状況が続いていました。

そのような中、昨年12月より始まった「第2次エコカー補助金」の復活は、当業界にとって好影響を与えています。特に、低価格のハイブリッド車として発売した新機種に関しては、山梨県内の販売会社の全店において発売していることもあり、第2次エコカー補助金との相乗効果により、順調に売上を伸ばしています。また、この新型車に関しては、今まで高級車のみ取り扱いを行っていた会社にとっては、新規顧客を獲得するチャンスともなっています。

今後の展開は？

しかし、そのような中でも油断はしてられない状況です。第2次エコカー補助金については、予算額に限度があり、その予算額に達した時点で当補助金は終了となります。前回の第1次エコカー補助金の終了時の影響を考えると、第2次エコカー補助金の終了時も厳しい状況が予想されます。また、落ち着きを見せないガソリン価格の高騰により、自動車自体の利用を控える、または自動車を手放す顧客が増える可能性もあります。さらには、少子高齢化により自動車の保有者自体の減少も考えられ、今後はこれらの対策も検討していく必要があります。

その対策のひとつとして、今以上に「自動車の楽しさ」をお客様に伝えていく必要があると思います。今後は、自動車がただの移動手段というだけではなく、自動車を運転する楽しさ、自動車で出かけるからこそ生まれるコミュニケーション等を、より多くのお客様に伝えていくことが重要だと思えます。



新発売されたスポーツカー